

# 高齢者実態調査の結果をお知らせします



町では現在、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、「毛呂山町高齢者総合計画（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）」を策定し、事業の推進を図っています。

介護保険事業は、平成12年に開始されてから8年が経過し、高齢者の自立支援を基本理念として、介護サービスの提供をするとともに、介護予防、健康づくりなどにも努めています。

今回の高齢者実態調査（アンケート調査）は、平成18年度から平成20年度までの3年間の計画が終了することから、次期3年間の計画（平成21年度～平成23年度）を策定するための基礎調査として、昨年11月下旬から12月上旬にかけて実施しました。

調査結果の概要についてお知らせします。

## 【調査対象者】

調査名	対象者
①在宅要介護者調査	要支援・要介護に認定されている人のうち、介護保険施設に入所または入院していない人
②施設入所者調査	要支援・要介護に認定されている人のうち、介護保険施設に入所または入院している人
③一般高齢者調査	65歳以上で、①、②の対象者を除く人のなかから、無作為に抽出した人

この調査は、平成19年11月1日現在で40歳以上の要支援・要介護の認定者および65歳以上の町民を対象に、次の3種類の調査を行いました。

各調査とも調査期間は、平成19年11月30日から12月10日までで、調査票を郵送配布・回収により実施しました。

## 調査対象者・調査方法

## 【調査票回収結果】

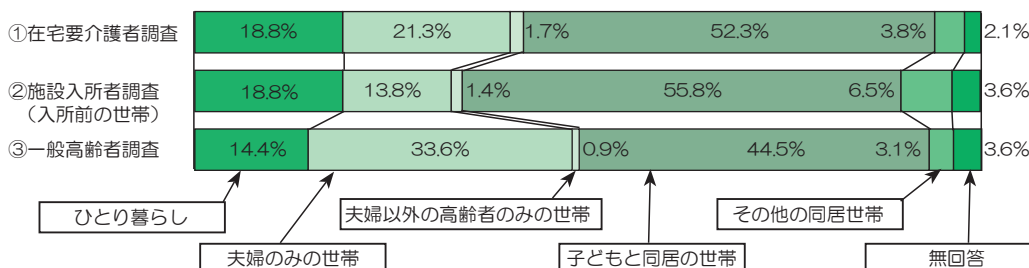
調査名	対象者数	有効回収数	有効回答率
①在宅要介護者調査	666人	478人	71.8%
②施設入所者調査	171人	138人	80.7%
③一般高齢者調査	1,500人	1,230人	82.0%

各調査の有効回収率は、次のとおりでした。

## 回収結果



## 【高齢者の家族構成】

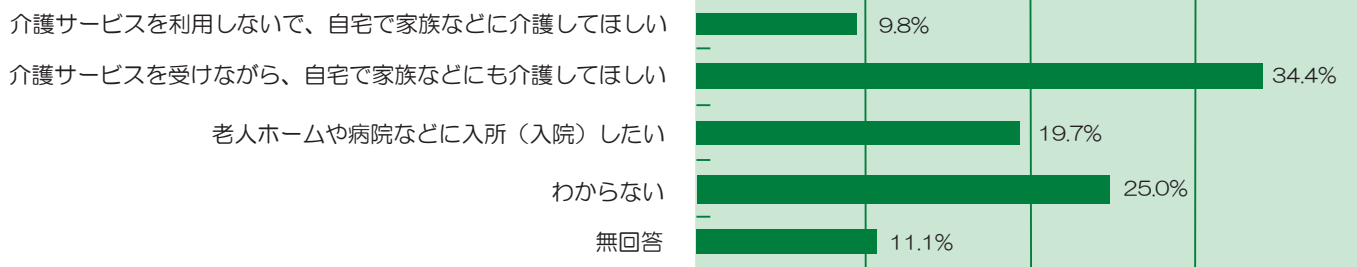


どの調査でも「ひとり暮らし」と「夫婦のみ世帯」の割合が高く、とくに一般高齢者調査では、高齢者のみの世帯の割合が48.9%と高い傾向にあります。

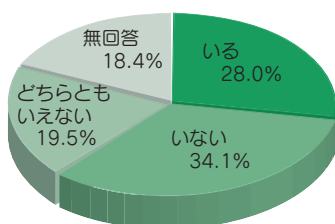
## 世帯の状況

## 【介護が必要になったとき、どのようにしたいですか？】

(一般高齢者調査)



### 【介護を代わってくれる人はいますか？】



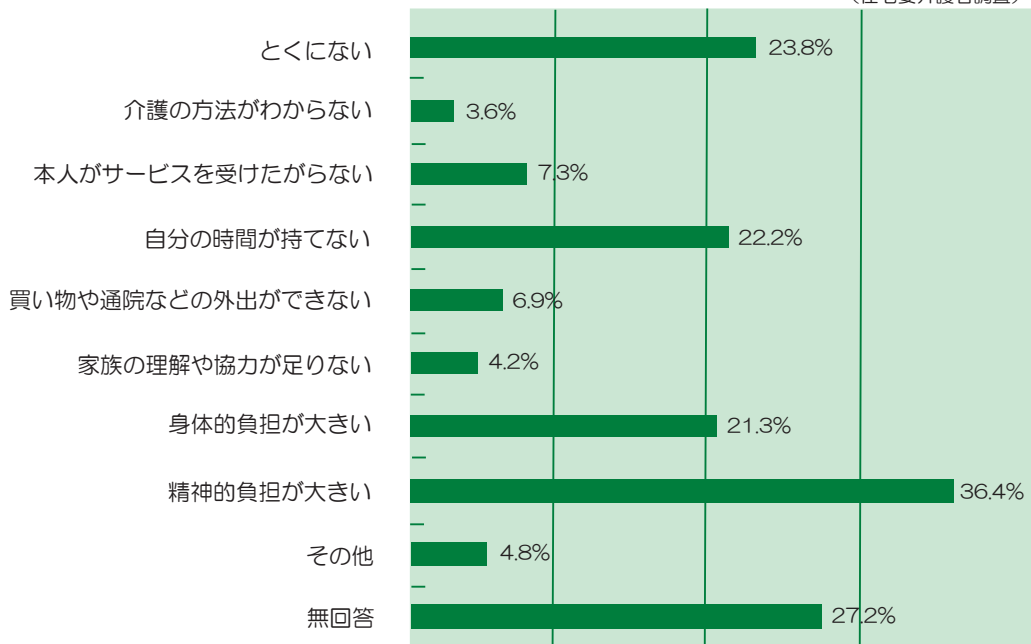
(在宅要介護者調査)

**介護が必要になったとき、どのようにしたいですか？**  
 実際に介護が必要な状態になったとき、どのようにしたいか、という質問に対し、「介護サービスを受けながら、自宅で家族などにも介護してほしい」という回答が最も多くなっています。また、「老人ホームや病院などに入所(入院)したい」が19・7%と高いのは、高齢者のみの世帯が多いことが主要因と考えられます。

**介護を代わってくれる人はいますか？**  
 介護者が急な用事や病気などで介護できないとき、34・1%が代わってくれる介護者がいないという結果となりました。

## 【介護をする上で困っていることはありますか？】

(在宅要介護者調査)

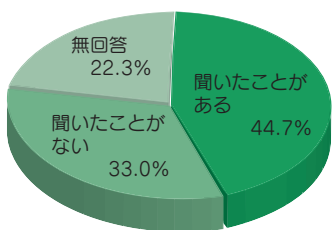


※複数回答

**介護をする上で困っていることはありますか？**  
 主な介護者が介護をするうえで困っていることは「とくにない」という回答が23・8%ありました。介護をするうえで

で困っていることがあるとの回答では「精神的負担が大きい」36・4%、「自分の時間が持てない」22・2%、「身体的負担が大きい」21・3%となりました。

### 【介護予防という言葉を知っていますか？】



(一般高齢者調査)

**介護予防という言葉を知っていますか？**  
 介護予防について「聞いたことがある」と回答した人は44・7%、「聞いたことがない」と回答した人は、33・0%となりました。

高齢者が地域のなかで生きがいをもって、いつまでも健康で安心して生活ができるように、健康づくりや介護予防などの施策が重要となります。

**介護予防という言葉を知っていますか？**

この調査結果は、平成20年度に行う高齢者総合計画策定の貴重な資料として活用されます。

詳しい実態調査結果については、高齢者支援課までお問い合わせください。

☎ 役場高齢者支援課高齢者福祉係 ☎ 2995-2112  
 内線 118-157